

## 浜松労災病院

### ◎日本医療機能評価機構の認定について

平成19年3月に受審した日本医療機能評価機構の病院機能評価(ver.5)について、認定証の交付を受けました。今後も認定病院にふさわしい医療機能を維持すべく努力をしていきたいと存じます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。(院長)



### ◎麻酔科紹介 部長 木村 健

当院は、2年ほど麻酔科常勤医が不在でありましたが、この度、新病院に向けて、赴任いたしました。よろしくお願ひいたします。

静岡県内の麻酔科実働数は、中部・東部に行くにつれ、著しく減少し歯止めがかからない状態にあります。マンパワー不足はありますが、質の高い医療を提供できるよう努めていくつもりでおります。

さて、当初の目標としまして、周術期の鎮痛を中心とした、患者満足度の高い麻酔管理と、中・長期的な予後の改善を掲げております。

#### ① 周術期鎮痛・・・

術後の疼痛は、ともすると手術のリスク以上に、患者さんの危惧するところであり、かつ、十分な鎮痛は、肺炎・DVT(深部静脈血栓症)を含む合併症予防には欠かせないものであります。

現在の全身麻酔薬は、短時間作用性の薬剤で占められており、故に、麻酔より10分以内でほとんどの方は覚醒いたします。

そこで、当院では、術後無痛を目指し、従来の硬膜外ブロックや麻薬の持続静注に加え、エコー下神経ブロックを併用し、術中よりの十分な鎮痛(先行鎮痛)を行っております。エコーを用いたブロックは、神経刺激法よりも安全性も高く、薬剤の広がりを確認できることから確実性が増し、ここ数年、世界的にスタンダードになりつつあります。全身状態の不良な方や、硬膜外ブロックの適応外の症例(凝固障害等)にも可能であり、麻薬の副作用を軽減し、頸部から下肢の手術に対応します。

#### ② 中・長期的な予後改善・・・

麻酔維持管理方法(例えば深い鎮静など)が、予後に影響を与える可能性が一部示唆されてきております。

例えば・・・(心・血管系)周術期を通じてのスタチン系の継続や術中βブロッカー使用によるイベントの減少。

(脳・神経系)従来見過ごされてきた術後譫妄が、半年、1年後の生存率に影響を与えるとされております。

そこで、譫妄抑制効果が期待される鎮静剤(パニック障害等の患者さんにも有効)を用いて、術中だけでなく、麻酔科医がトータルな改善に貢献できることを目標にしております。

#### ② ペインクリニック外来・・・

帯状疱疹後神経痛を含む各種慢性疼痛や顔面神経麻痺等に、早期からの星状神経節ブロック(含エコー下)やリドカイン点滴療法などを行ってまいりました。新病院移行時点で、開始を考えております。ご支援のほどよろしくお願ひします。

[略歴]

H4 浜松医科大卒業 麻酔・蘇生科入局

H6 静岡県立総合病院(含 静岡県立こども病院)

H11 磐田市立総合病院

### ◎第10回市民公開講座

次により開催いたしますのでご案内いたします。

1. 日 時 平成20年8月6日(水)  
18:00~19:00
2. 場 所 第2会議室
3. 演 題 「肺がんのはなし」 呼吸器内科部長 豊嶋 幹生

暑中お見舞い  
申し上げます。

